

はばたけ 広島サンダース

久原 大輝

6月から新シーズンが始まった。日本たばこ産業（JTI）から分離子会社化し、女子チームの大阪マーヴェラス（大阪M）を合わせたバレーボール事業を運営する新会社「株式会社サンダース&マーヴェラス」が本格的にスタート。これまで実業団として歩んできたチームにとって、プロクラブとして新たな歴史を刻む第一歩となった。

6月中旬、広島市中区のエディオンピースウィング広島で新会社の発足を開いた。式には経営戦略部や事業運営部、選手が所属する強化部

プロクラブとしての一步

のメンバーが参加。普段はそれぞれ異なる業務に携わっている社員同士が顔を合わせ、「アイスブレイク」を通じて交流を深めた。新会社の理念や事業概要、運営方針について共有する時間が設けられた。

強化だけではなく、サンディ、パートナー企業、地域社会とのつながりをより深めながらクラブとして成長していくためには、社員一人一人が同じ方向を向くことが欠かせない。発足式は、新たな組織としての可能性や責任を改めて確認するいい機会となった。

広島サンダースの魅力を発信しながら、バレーボールの価値向上と地域への貢献を目指して歩みを進めていく。クラブとしての新たな挑戦に、ぜひ期待していただきたい。

（広島Tマネジャー）

発足式に参加し、集合写真に
納まる選手（16日）

